



北海道紋別高等学校 学校便り

希望の学府



第206号

北海道紋別高等学校

〒094-8643

北海道紋別市南が丘町6丁目3番47号

TEL : 0158 (23) 3068

発行日 令和8年3月24日

今年度を振り返って

この一年間を振り返ってみて、今年度も様々なところで皆さんの活躍を見ることができました。

特筆すべきことは、7月の紋高祭では恒例の紋高そーらんでどのクラスも一生懸命素晴らしいパフォーマンスを披露し、団結して取り組んでいました。観客の保護者や地域の方も大変感激しており、紋高生として立派でした。他にも模擬店や有志発表も大変感動する場面が見られ、2日間の紋高祭は皆さんの熱心な取り組みで大成功に終わることができました。

他にも部活動では多くの部が全道大会へ駒を進めました。特に、弓道部とロボット研究部においては、全国大会出場の快挙を成し遂げ、これまでの努力の積み重ねが実を結んだ結果だと実感しています。

皆さんが紋別高校生として日頃の授業はもとより、部活動や様々な場面で一生懸命取り組んでいたことがうかがえます。

今後も様々な場面で活躍していくことを期待しています。

文責：教頭 矢吹義則

卒業式と3年間を振り返って

2026年3月1日(日)、121名の卒業生が巣立っていきました。卒業式時には、涙を浮かべていた生徒もあり、3年間の思い出が詰まった学び舎への感謝の気持ちが伝わってきました。本学年は、これまでに卒業した先輩方の背中を追いかけて、勉強と部活動の両立に一生懸命頑張っている生徒が非常に多かったように思います。検定取得に向けて放課後に講習に参加した日々、学校祭準備でクラスメイトとよさこい練習に励んだ紋高祭準備期間、進路実現に向けて履歴書を書いた夏休み、これらはきっとみなさんの未来を支えることでしょう。級友とのお別れはちょっと寂しいと感じる生徒も多いとは思いますが、成人式でお互い立派になった姿を見せ合えることに期待したいです。

最後になりますが、3年間支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。

文責：3学年主任



転退出する教職員

氏名	転出先	氏名	転出先
矢吹 義則	網走桂陽	笹川 一洋	富良野
佐々木 徹	岩内	小島 宏章	退職
柏木 佳奈	平取養護	北田 勇氣	退職
前川 駿	北見工業	鶴沼 巧	退職



電子機械科の取り組み

電子機械科では、ものづくりを通じて、様々な教育活動を展開してまいりました。本年度も各企業・各学校の方々にご協力いただきました。進路活動に向けた取り組みとして、3年生は旭川市にて工場見学を、2年生は北見市にて工業見学と学校訪問を、1年生は出前講義を実施することができました。また、実際に企業で働いている本校OBに來校いただきました。OB進路講話では、企業紹介や経験談、進路活動を進める上でのアドバイスをしていただくことで、生徒が自身の将来を想像する機会をつくることができました。また、3年生は今年度も年内に全員が進路決定をすることができました。ですが、就職先や進学先を決定することが最終目標ではありません。就職する企業でどのような人材になりたいか、進学する学校でどのように成長したいかを考え、卒業するまで、将来に向けた努力を継続していくことが大切であると考えております。

このようなことから、電子機械科では「ものづくりは人づくり」と考え、卒業していく生徒が社会に出て、楽しく頑張れるように教員一同、努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

文責 電子機械科

〈3年 工場見学〉



〈1年 出前授業〉



〈インターンシップ報告会〉



〈課題研究発表会〉



総合ビジネス科の取り組み

今年度も総合ビジネス科は、将来の紋別市を担う人材の育成に努めてまいりました。地域活性化をテーマを掲げ国際交流をはじめ、販売実習や異校種連携などに力を入れてきました。国際交流では、タイのウドムスックサー学校との交流が6年目を迎えました。親日国であるタイと友好関係を築くことで、内容がレベルアップしていますが、非常に残念なことに貴校は4月末をもって廃校となります。今後は、紋別市が連携協定を結んでいるビーコンハウスとの交流を検討しています。

紋別市国際交流推進室様主催の技能実習生向け社会科見学や夏・冬の交流会には、課題研究・地域創生グループが国際交流の一環として、今年度も参加させていただきました。

また、タイ短期留学生との「お泊まり交流会」や「技能実習生向け日本語教室」等に積極的に参加するなど、生徒の課題でもある「コミュニケーション力」を向上すべく、本学科の特色である国際交流を通じて生徒たち自ら克服に努めていました。

7月末に全6回実施された英会話教室に私も4年間参加してきましたが、今年度も総ビ科の生徒と一緒に参加して、英会話を学び、そしてスキルアップできたと実感しています。

「北海道商業教育フェア」では、座学で学んだ接客やビジネスマナーなどを生かし、1年生から3年生までの生徒が紋別の知名度向上に向けた取組を行ってきました。

7年目となる「イオン販売実習」やオホーツクの空の玄関口である「オホーツク紋別空港販売実習」では商品を改良してスイーツを販売したところ大盛況となりました。

学科の枠を超えて普通科と総合ビジネス科の希望者が参加したタイ短期留学派遣事業では、オンライン交流で交流を続けてきたタイの生徒たちと現地でお会いする感動的なシーンから始まり、二度目となる「グローバル販売実習」では、前回よりもレベルアップし、日本伝統のお菓子「どら焼き」の種類をタイオリジナル風味も合わせて販売し、大盛況となりました。

北方圏シンポジウムでは、中高生英語ボランティアとして約10名の生徒が各国の研究者たちと英会話を通じてコミュニケーションを図り、研究者や市役所職員からも好評で、また一つ歴史のページをめくることができました。

次年度も、体験型授業や異文化交流をより発展できるよう努めていきたいと考えております。

文責：総合ビジネス科

〈商業教育フェア〉



〈全道ビジネス計算競技大会〉



〈海洋交流館販売実習〉



〈イオン販売実習〉

